



岩垣 和彦 議員

未婚・晩婚・離婚問題の実態は

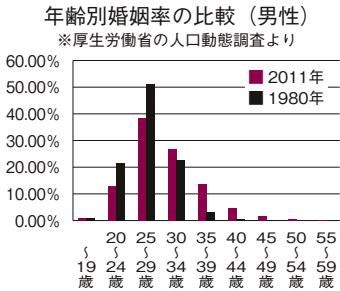
晩婚化に伴う背景をどう認識し、問題解決に向けて対応する考えはあるか

【問】 晩婚化や未婚率の上昇は、景気低迷、男性の草食化、性的無関心の増加、非正規雇用の拡大など様々な要因があるが、市内の年齢別婚姻率はこのように推移しているか。

【答】 婚姻率のデータは厚生労働省が作成しているが、年齢別婚姻率は高山市として把握していない。

【問】 国際化やグローバル化の進展に伴い、世界中で国際結婚が増加している。高山市で国際結婚の世帯数及び婚姻率はこのように推移しているか。

【答】 9月1日現在、住民登録されている外

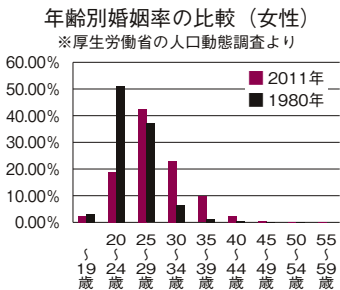


国人は585名。平成23年度中の国際結婚の婚姻数は27件で国際結婚の世帯数及び婚姻率は把握できない。

【問】 国際結婚世帯の離婚率はどうな状況になっているか。

【答】 国際結婚の世帯数が正確に把握できないため、離婚率も把握できない。昨年度中の国際離婚の件数は10件であった。

【問】 嫁不足が深刻化する中、結婚仲介業者が介在したお見合いによ



る国際結婚で中年の独身男性を狙った悪質な結婚詐欺が東北地方を中心に社会問題化している。市内においても類似事案の被害状況を把握しているか。また、その対応をどう図るか。

【答】 子育て支援課家庭児童相談グループで相談ホットラインを配置して離婚問題、家庭内の諸問題について相談を受けている。その中には国際結婚世帯の相談もあるが結婚詐欺や偽装結婚まがいな状況は把握していない。しかし、その様な相談があれば、法律相談や専門機関を紹介し対応を図りたい。今後の状況を注視し対応を考えたい。



小井戸 真人 議員

副市長一人体制の評価は

副市長一人体制について

【問】 市長公約によって副市長が一人体制となったことに対する評価は。

【答】 合併後の市の形が見えてきたことや、人口規模からも副市長の一人制は妥当だと考えている。また、一人制によって意思決定がスムーズにいったっており、効果は高いものがある。

【問】 政策検討市民委員の活動に対する評価は。

【答】 試行錯誤のスタートで、委員の皆様

は委員会の運営からとりまとめまで大変なご苦労があったと思うが、高山市を良くしたいという熱意をもって取り組んでいただいた。委員会の活動は協働のまちづくりの第一歩として評価できる。

【問】 政策検討市民委員会からの提言・要望をどのように取り扱うのか。

【答】 今回提出された提案・提言は貴重であり、最適と考えられる対応をしていきたい。

【問】 市民と市長の対話集会において管理職試験に英語を必要とする点について話題となっていたが、これ

の考えに変わりはないのか。

【答】 これからの管理職には一定の英語のレベルが求められると考えている。変更するつもりはない。

【問】 幹部会議を英語で行う目標が示されているが、幹部会議を英語で行う目的と対応は。

【答】 管理職が率先して英語力の向上に向けて取り組むことが職員全体の英語力の底上げにつながるかと考えている。まずは、日常会話程度の英語を取り入れながら会議を行うことを考えていきたい。その中で会議を英語で行うことを目標としながら、英語力の向上に努め、ゆくゆくは幹部会議を英語で行えるように取り組みたいと考えている。

